



この町を守る男たちの熱き戦い

6/20 町消防操法競技会での1コマ

広報



すみだ

No537

6

### 6月の主な内容

- P 2 特集農に挑む
- P 5 アツモリソウバイテク技術
- P 7 事務事業の収支決算
- P 10 まちづくり情報
- P 4 消防操法競技会
- P 6 情報キャッチボール
- P 8 まちの話題「東西南北」
- P 11 EM菌プール掃除



輸入農産物との価格競争や後継者不足、農業を取り巻く環境は依然として厳しい。そんな中、むきむきに農業に取組む人たちがいる。住田型農業の未来に、筋の光が見える。吉田さん

# 農に挑む

特集

## 坂本農林業振興会

### 景色が変わった

坂本地区のとある人に言われた。「ほんたら、坂本さ最近行ったが？変わったぞあ」

早速行ってみた。違う。以前ここは雑草の生えた土地だったはず。そこには野菜が植えられていた。確かに変わっていた。

### 遊休農地を耕す

原因は容易に想像できる。坂本農林業振興会 遠藤徳規会長が平成十二年に開設した赤羽根



遊休農地だった。今年から佐藤さんが借りてブロックリーやカリフラワー、ネギなど、さまざまな種類の作物が作付けされている。ミナ、ブドウ、やか、の苗が上がる。農業の「計算」できる。佐藤一男さん（写真）は、五合畑のほ場

## どさく 土作の会

### 土作りのプロたち

作物は土から産まれる。土はいわば母のようなもの。この土作りにこだわる人たちがいる。

土作の会（遠藤徳規会長）は、十一人の農家の集団だ。作目はそれぞれ違うが、共通しているのは徹底した土作り。

肥料は、町内で作られる有機堆肥だけを使用。化学肥料や農薬を抑えた有機栽培と、町内にある資源を活用した循環型農業を目指している。会員でただ一人畜産関係者の鶴留一久さん

城内はこう語る。今農業に求められているのは安全・安心。無化学肥料・無農薬を消費者は求めている。また、町内の堆肥を使えば、家畜排せつ物処理問題の解決にもつながるのではないか

認めるのは消費者 出荷する際にはパッケージに会のラベルが付けられる。しかし、そこに「有機」の文字はない。無化学肥料栽培はできて無農薬栽培は難しい。われわれは趣味やボランティアではなくプロの農家だ。無理して有機認

売れることが元気の源 佐藤ミキ子さん「百合ヶ沢」のお宅では、今年から地区内の遊休農地を借りて野菜を栽培している。やっぱり直売所やスーパーの直売コーナー、漬物屋さんなんかの売り先があるからねえ」とその理由を語る。

十人ほどの畑を、ほとんど一人で作っているという。年だから最近体にも「故障」が出てきてねえ」と笑顔で言いながらも話し終わるとまた畑へ戻り作業にとりかかっていた。

直売所が地区の人々を元気付け、そして遊休農地を蘇らせたのだと感じた。

会員の皆さん



証をとるより、味で勝負している。認めるのは消費者」と、鶴留さんはその理由を語った。今後は、会員みんなが同じ味のものを作ることが課題だという。

### 作物も人と同じ

会員の吉田信一さん「向川口」のほ場を訪ねた。キュウリのハウスに案内されると、早速マルチをはがし土を見せていただいた。見た目は変わりないようだが、触ってみると、湿り気の中にふわっとした肌触りがした。土壌改良を始めてから今年で四

年目になるという。「以前とは変わったなあ」と吉田さん。「一番いいのは、追肥と農薬散布の手間、経費が減ったこと」とその効果に満足の様子。「それから、味が違う。キュウリなんかは甘みがあつておいしいと、近所や親戚からも評判がいいよ」と笑顔を見せた。

「作物も人と同じ。人に害になるものは野菜に使ってもよくないのは当たり前。それに、手をかけてやれば、その分いい答えが出るからね」と、まるで我が子のようにキュウリを見つめる。土を手に取り吉田さんは「昔は金肥（化学肥料）を使って、たいした採れた時期もあつたが、肝心の土がもたなくなつてきた。やっぱり昔のやり方に戻つていくのかなあ」としみじみ語った。その瞳には自分たちの土作りに対する自信。そして何より食べて喜ばれる野菜を作ろうという意気込みを感じた。



「いい作物を作るためには、やはり土作りが先決」と語り、土の状態を確かめる吉田さん



出荷の際、パッケージに貼るラベル



キュウリのなり具合を確かめる

## 新規就農者

新たに農業に挑む若者がいる。佐々木公一さん「赤畑」は、昨年新規就農し、現在は主にキュウリを栽培している。

佐々木さんは大学を中退後、埼玉、富山で彫刻を学んだ。しかし、彫刻で生計を立てることは難しく、また長男ということもあつて実家に戻った。生活の基盤を作るため、大学時代からやりたいと思つてきた農業に従事。今年八十歳になる祖父の薦めもありキュウリを選んだ。

町の担い手農業者経営支援対策事業の補助金を活用しスタートしたが、最初は曲がったものが多く、思うようにいかなかった。でも、曲がりの原因がわかり処置するとそれが直った。

自分の短気な性格にもあつて「かな」と農業の面白さを語る。将来について尋ねると、「もっと高収益なイチゴもやりたいが、技術がなくて」と悩みも抱えているようだ。

佐々木さんはグリーンツーリズムにも興味があるとのこと。「彫刻を学んでいたころは、自分のため」と思つてやっていたが今は「町のために何かしたい」という気持ちが強い」と、地域づくりに対する熱い思いもぞかせていた。



農業のプロを目指す佐々木さん



左が平成9年、右が平成10年に播種し、今年開花したアツモリソウです。その後ろに見えるのが現在順化中の苗。その数は1,000本近くになる

## アツモリソウ増殖事業の バイテク技術について

先月号の広報すみたでお伝えした「純」住田町産アツモリソウ開花。町は平成七年からバイオテクノロジー技術を利用したアツモリソウの増殖事業に取り組んでいます。今回はその概要についてお伝えします。

### 作業の手順

#### 人工授粉

開花後の晴れた日に受粉します。病気などに強くするため別の花から花粉を取って受粉（他家受粉）します。  
種の採取と無菌播種  
受粉後、五十〜七十日後に種の入った袋（朔）を取り、無菌状態の培地（栄養分の入った寒天）に種をまきます。

#### 無菌培養

播種後、温度を一定に保つ装置（インキュベーター）内で温度を二十度程度に保ち、培養します。約一カ月後、種が膨らんだ状態（プロトコム）になります。この後次第に根、茎、葉の形が表れてきます。

#### 低温処理と順化

播種から約一年後、培地上で根が伸び、茎や葉の形がはっきりしてきます。これを低温の環境に置き数ヶ月間眠らせます（低温処理）。自然界に出る前に休息を与えるためです。この後土に植え替え、さらに管理を続けます。（順化）

#### 開花

葉の数が四〜五枚になったら開花の時期。今年咲いたものは土に植えてから六〜七年後に開花しました。



土に植え替えて芽が伸びてきます



年々、葉の数が増えてきます



播種してから約一年後の状態



種を顕微鏡で拡大した写真

播種してから約1ヶ月後の状態

### 現在の状況と 今後の課題

順化する苗は、ここ数年で年間千本以上になりました。これからの課題は、土に植え替えてからいかに確実に開花させるかです。現在、植え替え後の調査研究はアツモリソウ研究会に委託していますが、昨年からは栽培講習会を開催しており、修了した方にはバイオ苗を配布し、開花までの技術を身につけていただくたいと考えています。

事業開始からこれまで、約千八百万円を投入しています。今回の開花を契機に、町の花であるアツモリソウの保護増殖と産業化を目指し、今後も研究を重ねていきますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

◆問い合わせ先 産業振興課 農政係 ☎46 3861

火点に向け前進



ホースの結合を確認

筒先員交代



勢いよくホースを投げる

気合の入った号令



号令とともに駆け足で集合

一列に整列



息の合った操作

## この町を守る男たちの 熱き戦い

### 一町消防操法競技会

6月20日(日)農林会館前駐車場において第18回住田町消防操法競技会が行われました。雨天という残念なコンディションでしたが、選手たちは真剣な表情で練習の成果を十分に発揮しました。



真剣なまなざし



厳正な審査



器具の配置も採点対象



一線延長のホースライン



健闘を祈ります

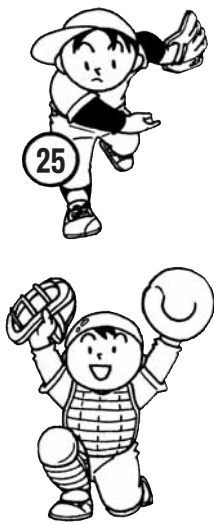


選手宣誓する千葉亨・指揮責六分団一部

### 結果

- 自動車ポンプの部
  - 第一位 二分団一部(愛宕)
  - 小型ポンプの部
    - 第一位 三分団二部(大股)
    - 第二位 五分団三部(坂本)

以上の三部は七月十八日、本町で開催される気仙地区支部消防操法競技会に町代表として出場します。



## 保小中高の連携による

### 継続的な教育活動

教育次長 菊池友昭

町は次代を担う人材育成のため、保育園から高等学校までを見通した継続的な教育活動として、さまざまな取り組みを行っています。

#### 幼保一元化と就学前教育

本町は、どの子にも区別なく就学前教育の場を提供していくため、「幼児教育(保育)プラン」を策定し、平成十四年度から幼稚園と保育所を一元化し、「保育園」として位置づけました。プランに基づき保育園では、四・五歳児は幼稚園と同様のカリキュラムにより就学前教育を進めています。

保育園では、安心・安全な保育とともに、生涯学習の基礎を培う就学前教育の視点も踏まえ運営しています。また、小学校へのスムーズな就学や保小中高と連携した学習を考慮した活動も展開しています。

#### 英語(国際理解)教育

保小中高と連携した取り組みの一つとして英語教育が挙げられます。保育園では英語教育・国際理解ということではなく、今後の英語学習へスムーズに適應できるように、外国人や異文化に親しむことをねらいとして英語指導助手を月一回ほど派遣しています。

また小学校では、「総合的な学習の時間」に英語指導助手二人を活用し、週一時間以上の授業や交流を行っています。保育園と同じく本格的な英語学習への前段階という位置づけで、英語に親しむことをねらいとしています。

#### 森林(環境)教育

保小中高連携の事業として森林(環境)教育も行っていきます。一昨年から始めた「森の保育園」では、種山ヶ原の広大な自然の中で園児は一日楽しく過ごします。その際、住田高校の生徒が園児のお世話係として一緒に参加し、普段体験できない多くのことを学んでいます。

小中学校でも種山ヶ原を活用した学習を行うなど、森林について学習するとともに自然環境を通じた豊かな人間形成に取り組んでいます。

また住田高校においては、地域文化選択講座の中で町内の自然や文化を活用した学習に取り組み、一昨年から町内中学生



森の保育園

も一緒に参加し、中高の連携と交流を深める事業を展開していきます。

#### その他の連携

小中高の連携と交流を進めていくため、文化産業まつりと併せて「小中高連携文化発表会」を開催しています。これは、それぞれの文化活動の取り組みを発表し、お互いの活動を理解することを目的としています。全体合唱では、小中高が一つの曲に取り組み、大きな連帯感の醸成につながっています。

また、子ども教育会連絡協議会が主体となり小中高生を対象とした「リーダー研修会」を開催し、子どもたちの交流が活発に行われています。

#### おわりに

本町のような過疎・少子高齢化の進む中山間地域にとって、これから担う人材の育成は大きな課題です。幼保一元化、保小中高連携による継続的な教育活動、中高一貫教育の導入は、その解決策の一つとして取り組んでいるものです。

町民の皆さんのご理解、ご協力をお願いするとともに、ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

## 推進委に移行

中高一貫教育校設置に向けて住田町中高一貫教育校設置検討委員会は本年度から、設置を進めるための「住田町中高一貫教育校設置推進委員会」に移行し、六月一日に第一回の委員会を開催しました。設置する場合は教育課程や町の支援策などの教育課程に向けた具体的な内容の検討と、広報活動、設置推進活動を行うっていくことを確認しました。



第一回委員会

## 「県高等学校新整備計画(後期)」への対応

整備計画(後期)の基本方針では、一学年の生徒数が二学級の定員を満たしていない学校は統合することとしており、住田高校はその対象となる可能性があります。

町は、住田高校の存続と中高一貫教育校の設置は別の角度から捉えています。中山間地域における人材育成の場としての中等教育を確保していくという観点から、積極的に対応していきます。

## 6月議会

# 新議長に千葉滋夫氏就任

## 副議長には荒木氏

町議会六月定例会が、六月九日から十四日までの六日間の会期で開かれました。平成十六年度補正予算、条例改正など十四の案件を審議し、いずれも原案どおり可決、承認されました。また、体調不良で入院加療中の山内茂氏の議長辞職による議長選挙では、投票の結果千葉滋夫氏が選出されました。

## 補正予算

平成十五年度住田町一般会計補正予算(第八号)の専決処分に關する承認

歳入歳出にそれぞれ五百五十八万九千円が追加され、予算総額が四十億五千三百七十九万五千円となりました。

平成十六年度住田町一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出にそれぞれ七千九百九十万円が追加され、予算総額が四十億七千九百一十七万七千円となりました。主な事業では、学校給食共同調理場の解体・新築工事費として四千七百七十七万円、農業施設整備などの関連で意欲ある担い手育成事業費補助金として千九百七十九万九千円、林道・作業道の環境整備業務委託料として六百五十八万八千円が増額となりました。

## 条例改正

住田町農業委員会の選挙による委員の定数に關する条例の一部を改正する条例

これまでの十六人から三人減の十三人になりました。次回の一般選挙から適用されます。

## 議決

町道路線の認定に關する議決  
小繋沢線(上有住字中塚)と中沢二号线(上有住字中沢)の二路線が町道として認定されました。

## 請願

住田町の畜産農家を守るための助成依頼についての請願  
陸前高田市農協(細谷弘組合長)から提出された請願については、閉会中の継続審査としました。



議場改築による対面式の質疑

## 人事



議長 千葉 滋夫氏 = 上日向 =



副議長 荒木 久一氏 = 和山 =



監査委員 菅崎 幸栄氏 = 合地沢 =



佐藤 啓一氏 = 大渡 =

## 新シリーズ

# 事務事業の収支決算

## ―保育園編―

今回より、町が行っている事務事業ごとの収支決算額をお知らせします。第一回目は「保育園」の運営にかかる収支決算です。

## 88百万円の町負担

平成十四年度の保育園事業に要した経費は、約一億六千万円です。(表1)この経費から収入約七千二百万円(表2)を差し引いた約八千八百万円を町が負担しました。このうち町の義務負担約千二百万円を差し引いた約七千六百万円が町独自の負担となります。

これを町民一人当たりで換算すると、一万三百九円を負担したことになります。(注1)

## 園児一人あたりの経費

保育園の入園児は、年間延べ二万三千三十五人で、園児一人当たりの経費に換算すると年間約百八万円かかったこととなります。このうち、町独自の負担は約五十一万円となります。

表1 支出 (単位:円)

項目	金額	摘要
人件費	124,262,794	臨時職員含む
総務費	1,281,883	旅費、通信費、印刷費など
施設管理費	11,223,044	光熱費、修繕費、土地賃借料など
運営費	23,247,280	教材費、給食食材費、通園費など
合計	160,015,001	

表2 収入 (単位:円)

項目	金額	摘要
保育料収入	16,920,200	保護者のご負担分
国・県負担金	37,481,363	
県補助金	585,466	
地方交付税	13,964,000	企画財政課の推計による
その他	3,159,074	職員給食費、管外受託事業など
合計	72,110,103	

支出160,015,001円 - 収入72,110,103円 = 87,904,898円  
(町の負担額)  
収入・支出とも、平成14年度決算額のうち経常的な経費を計上  
(注1)平成14年4月1日現在の人口7,315人

## 来年の開花を期待して

六月四日、かつこ花を守る会（菊池賢一会長）のアツモリソウ園において、植え替え作業が行われました。平成十二年に開園した時は三百本だったものが、今では五百本を超える数まで増加。しかし、今年は花芽が昨年に比べ激減したことから植え替えすることに。

遮光幕をかけ、受粉していない花を摘む作業を行った後、根が呼吸困難にならないよう株分けを行いました。

来年はたくさんのアツモリソウが開花するよう、会員たちは丁寧に作業していました。



アツモリソウの植え替えを行う会員の皆さん

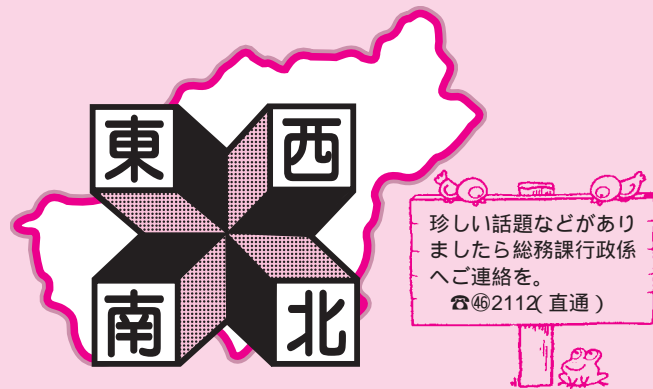
上住中沢の紺野勝郎さんのお宅で今年、双子のアツモリソウが咲きました。双子といっても縦に二つ並ぶ珍しいかたち。紺野さんは約五百本ほどのアツモリソウを育てていますが、縦に並ぶ双子は初めて見たとのこと。横に並ぶのだったらよく見るけど、これはよく見たら縦に二つ花があったので『おっ』と思ったよ」と、我が子を見るようなまなざしで見つめていました。



拡大写真

我が子のように見つめる紺野さん

## アツモリソウ縦に双子



## 感動のミュージカルに



皆さんぜひ見に来てください

「家族のありがた・命の尊さ」をテーマにしたミュージカル「パーフェクトファミリー！」が今年も八月一日、JAおおふなと会館で開催されます。

これは気仙地区の小学生から大学生までの住民参加による手作りのミュージカルとして昨年からスタートしたもので、今年が二回目。六月十二日、十三日には町農林会館において稽古が行われました。

大ホール舞台では、出演者がダンスや歌を元よく練習していました。

本町から参加している世田米小学校六年の吉田純さん「狐石」は「いろいろな友だちがたくさんできて楽しいです」と、明るい表情で語ってくれました。

同じく世田米小学校六年の鈴木美裕さん「火石」は「感動を伝えられるようなメッセージャーになりたい」と本番に向けての意気込みを見せていました。

本町からはこのほか、高田高校二年の佐々木菜緒さん「山脈」が出演します。

## ラベンダー大きくな～れ



ラベンダーの苗を植えつける園児たち

五月三十一日、有住保育園の児童二十五人がラベンダーの植栽を行いました。これは、花と香りの里恵山（佐々木正人会長）が遊休農地解消事業の一環として行ったもので、植栽を通じた世代間交流がねらい。

この日は地域住民の指導のもと、園児たちがラベンダーの苗を次々と植えました。

さわやかな陽気のなか、園児たちは開花に期待しながら楽しそうに作業していました。

## おいしい野菜にな～れ

六月四日、世田米保育園の園児がふれあい農園（川向）において農作業体験を行いました。

このふれあい農園は、EM菌を使った無農薬・無化学肥料農業の普及を目指し一昨年から開設しているもの。この日はぶどう組の園児三十人が挑戦。枝豆とサツマイモの苗を、慣れない手つきでしたが、一生懸命植えていきました。

秋には収穫祭も予定されており、園児たちは今から楽しみな様子でした。



みんなで丁寧に植えつけました

## 環境に優しい林業を研修



実際の作業を見学する参加者たち

町林業振興協議会（会長・多田町長）では、五月二十九日、三十日の両日にわたり、環境に配慮した路網開設研修会を開催し、環境に優しい作業道の整備を学びました。

気仙地方森林組合、同青年部、住田素材生産業協同組合、同青年部から二日間で三十五人が参加。全国的にも有名な昨年本町から視察に訪れた高知県大正町産産課の田辺課長と武正才（たけまさ）ベレーターを講師に迎え、おりかべ橋（世田米金成）付近の山林で実際の作業を見学しました。

路肩に土留め用の丸太を置きそこに木の根や山側の植生を移す方法で、これにより道路の崩落を防ぐとともに元の自然環境へ早く復旧させるという効果が得られるとのこと。開設コストは従来の工法と大差なく、補修にかかる費用はあまりかからないという経済的な利点も。

参加した菊池登さん「赤畑」は「仕上がりが立派で、後々生きてくると思う。住田ではやっていない方法なので、今後参考にしたい」と語っていました。



# 本町から初の県大会出場!



世田米バレーボールスポーツ少年団

六月五日から六日にかけて陸前高田市民体育館において開催されたバレーボール小学生大会気仙浦ロクク大会で、世田米バレーボールスポーツ少年団が、本町では初の県大会出場を果たしました。試合の様子について、キャプテンの菅野寿菜さん(五年)「川向は緊張したけど、みんなサーブが良かった」と評価。二日目の順位決定トーナメントでは、準決勝を接戦の末二セット連取で勝ち上がり、決勝は第一セットを奪われながらも、そこから巻き返し見事勝利を収め、それまでの練習の成果が十分に発揮されました。

六月二十六日からの県大会に向け、「レシーブなどでミスは少なく、ベスト4を目指したい」と意気込みを語ってくれました。

# おらだぢのまちづくり情報



## 今年もにぎやかに

六月十二日、世田米駅前駐車場において世田米商店会(菅野義保会長)主催の青空市と、せたまいまちづくり委員会(佐々木義郎会長)主催のフリーマーケットが開催されました。昨年に引き続き今回が二回目。

この日は夏さながらの日差しとなり、子どもからお年寄りまで、地域の住民で会場は大変な賑わいとなりました。

農産物や食料品、衣料品などを販売するほか、ビンゴゲームや金魚すくい、ニジマスのつかみ取りなど楽しい催しも行われ



食料品や雑貨などを特価で販売

ました。また、フリーマーケットでは子ども用の古着や雑貨など、さまざまな品物が並べられ、こちらも盛況でした。

今回は九月を予定しています。

## ナラ炭などを正式に商品化

大股地区振興協議会

大股地区振興協議会(紺野孝会長)では、昨年より取り組んでいる「炭窯納豆の里づくり事業」の一環としてこのほどナラ炭などを正式に商品化しました。これを期に地域づくり活動が、今後さらに活発化することが期待されます。

ナラ炭	15kg	2,000円
	10kg	1,500円
雑炭	15kg	500円
木竹酢液	2.7 l	1,000円
	1.8 l	700円
	500ml	200円

## 大洞地区にヤマザクラ50本

五葉地域づくり委員会

五葉地域づくり委員会(紺野寿美会長)では六月十三日、大洞地区内にヤマザクラ五十本を植栽しました。この日は役員や地域住民など約五十人が参加し、大洞公民館から滝観洞までの間と大祝バス停付近で作業に汗を流しました。

昨年より実施している景観整備事業の一環で、今年はこのほか寒倉の大滝周辺の整備を予定しています。



満開の桜並木が今から楽しみです

## EM菌さんきれいになったよ

四月号からお伝えしているEM菌を使ったプール掃除。五月下旬から六月上旬にかけて町内の小学校でプール掃除が行われました。

どの学校でも「洗剤を使わなくても汚れが簡単に落ちる」に思いがけない「葉っぱが分解され細かくなっていたので排水がスムーズにできた」など、効果はてきめん。

掃除には世田米婦人部会員と



汚れは簡単に落ちます(上有住小学校)

これからは夏本番。子どもたちは、EM菌できれいになったプールで、元気いっぱい泳ぎ回ることでしょう。

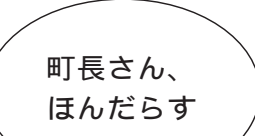


# 一町長に物申す 話すっこすっぺ

町長とざっくばらんな話をしましょう

参加資格 町内に住む30代前半までの若者  
日時 7月12日(月) 午後7時~  
場所 農林会館談話室

◆問い合わせ先 企画財政課地区振興室 ☎46-2114(直通)



## 明るく楽しく元気に 第13回すみた荘大運動会

六月六日、すみた荘の運動会が開催されました。開会式では小松久平施設長から「運動会は参加して楽しむことが何より大切。けがのないよう楽しく競技しましょう」とあいさつ。式の最後には記念行事として、入所者が書いた手紙をつけた風船が飛ばされました。色とりどりの風船は、青く澄みきった空に吸い込まれていき、それを皆笑顔で見送りました。

最初の種目は「ロープウェー」。両チーム十人が一列に並び、一本のロープに通した五つの筒を早く往復させる競技です。一つずつ送ったり、五つ一緒に送ったりと、両チームとも戦略を練っているようでした。周囲からは大きな声援が送られ、選手は真剣な表情で取り組んでいました。

このほか、家族や職員、会場の子どもたちによる競技も行われ、正午には無事終了しました。結果は赤組の優勝でしたが、両チームとも競技に、応援に懸命に取り組み、会場は大きな歓声と笑顔に包まれた運動会になりました。

青空に飛んでいく風船を見送る入所者の皆さん(ロープウェー) ほれ、早く早く



狙いを定めてしっかりと(玉入れゲーム) <成功を祝い全員で万歳>



## 7月11日は 第20回 参議院議員 通常選挙投票日

### 期日前投票制度がはじまります

期日前投票制度とは、選挙期日前であっても、選挙期日と同じように投票することができる(つまり、投票用紙を直接投票箱に入れることができる)仕組みです。名簿登録地の市町村の選挙管理委員会における不在者投票は、次の場合を除いて期日前投票に移行します。

- ・選挙期日には選挙権を有することになるが、選挙期日前に投票を行おうとする日にはまだ選挙権がない方
- ・名簿登録地以外の市町村の選挙管理委員会や病院、老人ホームなどにおける不在者投票は従来どおり

期日前投票をできるのは、選挙期日に仕事や用務があるなど、現行の不在者投票事由に該当すると見込まれる方です。

投票期間は6月25日から7月10日まで。  
投票時間は午前8時30分から午後8時まで。  
投票場所は農林会館です。



### 郵便などによる不在者投票が変わります

- ①対象者の拡大  
介護保険法上の要介護者で、介護保険の被保険者証に要介護状態区分が要介護5である方が、新たに郵便などによる不在者投票をすることができるようになりました。
- ②代理記載制度の創設  
郵便などによる不在者投票することができる選挙人で次に該当する方は、あらかじめ選挙管理委員会に届け出た方に投票に関する記載をさせることができます。
  - ・身体障害者で、身体障害者手帳に上肢または視覚の障害の程度が1級である者として記載されている方
  - ・戦傷病者で、戦傷病者手帳に上肢または視覚の障害の程度が特別項症から第2項症までである者として記載されている方

◆問い合わせ先 町選挙管理委員会 ☎46 2111(内線611)

(13)平成16年6月25日 広報すみた

### 高額医療費申請の負担が軽減

老人医療の高額医療費は、支給対象になるたびに該当者へ町から通知し、受給対象者の申請に基づき支給されています。

しかし、毎回の申請事務が老人医療受給対象者にとって過重な負担となっていることから、申請時の負担を軽減するため7月支給分からは初回時のみの申請とすることにしました。

なお、健康保険証に変更が生じた場合は、保険変更のたびに申請をお願いします。

また、本人による申請が困難な場合には、代理人による申請も可能ですので、忘れずに申請してください。

◆問い合わせ先 保健福祉課国保医療係 ☎46 3862(直通)

### 生ごみ処理機購入補助

町公衆衛生組合連合会では、生ごみの軽量化を図るため、家庭用「電動生ごみ処理機」購入経費の一部を補助します。

- ◆補助率 購入経費の3分の1、限度額は2万円
- ◆申込期間 7月1日(木)~12月22日(水)
- ◆補助条件 小売店で購入すること(通販不可) 1世帯あたり1台
- ◆申請に必要なもの 印鑑、見積書、カタログなど
- ◆問い合わせ先 町民生活課住環境係 ☎46 2113(直通)

## サマージャンボ宝くじ



今年のサマージャンボ宝くじは  
**億万長者が84人!**  
(1等: 2億円×42本、2等: 1億円×42本)

発売期間は  
**7月12日から30日まで**

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます

### 福祉タクシー助成事業のお知らせ

町は、重度身体障害者などが利用するタクシー料金の一部を、次により助成しています。

- 【対象となる方】
- 身体障害者手帳1級、2級の方
  - ・視覚障害(目の障害)
  - ・肢体不自由で下肢障害(足の障害)
  - ・肢体不自由で体幹障害
- 療育手帳Aの方
- ただし、施設入所中の方や、自動車税または軽自動車税の減免を受けている方、寝たきりでタクシーの利用が見込まれない方は対象になりません。
- ◆問い合わせ先 保健福祉課福祉係 ☎46 3862(直通)

### 難病相談会のお知らせ

大船渡保健所では、難病で療養中の方とその介護者を対象に、同じ病気で生活している体験をお持ちの方との相談会を開催します。プライバシーを尊重し秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

月日	対象	相談担当者
7月6日(火) 13:30~15:00	もうまく 網膜色素変性症	岩手県網膜色素変性症友の会
8月6日(金) 13:30~15:00	パーキンソン病	岩手県パーキンソン病友の会
9月9日(木) 13:30~15:00	せきずい 脊髄小脳変性症	岩手県脊髄小脳変性症友の会
10月14日(木) 13:30~15:00	こうげん 膠原病	全国膠原病友の会 岩手県支部

参加希望の方は、下記問合せ先まで事前にご連絡ください。

- ◆会場 大船渡保健所 2階栄養講義室
- ◆問い合わせ先 大船渡保健所福祉課 ☎27 9913(内線245)

### 県介護支援専門員実務研修受講試験

財団法人岩手県長寿社会振興財団では、介護保険制度において重要な役割を担う「介護支援専門員」の実務研修受講試験を次のとおり行います。

試験日時  
10月24日(日) 10:00~12:00

試験会場  
県立盛岡第一高等学校(盛岡市上田3丁目2-1)  
県立盛岡第三高等学校(盛岡市高松4丁目17-16)

- 申し込み手続
- ・試験案内(受験申込書)  
7月16日(金)から各市町村・地方振興局の介護保険担当課で配布(無料)
  - ・試験申込受付期間  
8月17日(火)~8月25日(水)
  - ・受験資格  
保健・医療・福祉分野で5年以上かつ900日以上(一部10年1,800日以上)の実務経験を有する方

◆申し込み・問い合わせ先  
(財)岩手県長寿社会振興財団 研修相談課 ☎019 629 2300

## 中央公民館図書室 からのお知らせ

今月の「本の読み聞かせ会」は・・・  
7月17日(土) 10:30~ です。  
お気軽にご参加ください。

### 新刊図書のご案内

『ちいさなバーバパパのおはなし』  
(全12巻)

チゾン+テイラー さく  
やました はるお やく



いろんなものに変身できるおばけのバーバパパ一家は、みんなとっても仲よし。世界中の子供たちに親しまれている、ゆかいな家族の絵本です。

『身のまわりの生活英語表現』

野村 真美

日ごろ使っている会話の英語表現を「お食事編」「お出かけ編」など、6つの場面に分けて収録。いろいろなシーンでの英会話わかりやすく紹介されています。



『さとうきび畑の唄』

遊川 和彦



戦時中の沖縄を舞台に、どんなに苦しくても、つらくても明るくまっすぐに行きぬこうとした家族を描いた、感動のドラマを小説化。戦争がもたらす悲しさとむなしさを訴えます。

◆問い合わせ先 中央公民館図書室 ☎46 2111(内線333)

広報すみた 平成16年6月25日(12)

# 7月の暮らしに役立つ

# カレンダー

町民の動き ( )内は前月比  
平成16年5月末日現在

人口 7,088人(-7)  
男 3,399人(+4)  
女 3,689人(-11)  
世帯数 2,234世帯(+4)

日	月	火	水	木	金	土
				1 (赤口)	2 (先勝)	3 (友引)  有保・七夕夕涼 み会・かぜっこ広 場 通信陸上岩手県 大会(～4日)
4 (先負)	5 (仏滅)  町内小学校合同 研修 健康運動普及事 業	6 (大安)  食生活改善推進 員養成事業 (保) 9:30～	7 (赤口)  日本脳炎予防接 種1期初回1回目 (保) 13:30～ 手芸教室(有住) (上) 13:30～	8 (先勝)	9 (友引)  世保・お泊り保育 下小・川っこ炊飯 有中・伝統文化 体験学習 デイケア自主活 動日(保) 13:00～	10 (先負)  日本脳炎予防接 種3期(有中) 桜 10:00～ 手芸教室(世田 米) (保) 13:30～
11 (仏滅)  参議院議員通常 選挙 学童軟式野球け んじワールド杯兼 三陸海岸学童少年 軟式野球町大会連	12 (大安)	13 (赤口)  転倒骨折予防教室 (五) 9:30～	14 (先勝)  転倒骨折予防教室 (保) 9:30～	15 (友引)  リハビリ教室 (保) 10:00～	16 (先負)  下小・授業参観 日・親子給食会	17 (赤口)  県中学校総合体 育大会(～19日)
18 (先勝)  気仙地区支部消 防操法競技会(世) ボランティアの 日(SVAサークル)	19 (友引)  海の日	20 (先負)  食生活改善推進 員養成事業 (保) 9:30～ 転倒骨折予防教室 (農) 9:30～	21 (仏滅)  日本脳炎予防接 種1期初回2回目 (保) 13:30～ 手芸教室(有住) (上) 13:30～ 転倒骨折予防教室 (保) 9:30～	22 (大安)	23 (赤口)  町内小・中学校 1学期終業式 住高1学期終業式 デイケア (保) 10:00～	24 (先勝)  世保・夕涼み会 有保・お泊り保育 日本脳炎予防接 種3期(世中) (保) 9:00～ 手芸教室(世田 米) (保) 13:30～
25 (友引)  県中学校総合体 育大会(軟式野球 ～27日) 東日本軟式野球 大会(C級)連	26 (先負)	27 (仏滅)	28 (大安)  日本脳炎予防接 種1期追加 (保) 13:30～	29 (赤口)  住高・一日体験 入学	30 (先勝)  県中学校駅伝気 仙地区予選	31 (友引)  第18回バレー ボールフェスティ バル(小学生の部)

(15)平成16年6月25日 広報すみた

日時は都合により変更になる場合があります。

(保)=保健福祉センター (運)=運動公園 (農)=農林会館  
(上)=上有住地区公民館 (有)=上有住集会所  
(世)=世田米小学校  
(保)=桜井医院 (上)=上代医院

## お知らせ おねがい

### 就職支援センターの ご案内

大船渡地方振興局では、就職を希望する方一人ひとりに、求職活動についての相談やアドバイス・情報提供を行っています。自分の興味や適性を知りたい方、面接や履歴書の書き方に不安がある方、各種の求人情報や技術講習を求めている方など、仕事に関することでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

開設は、毎週月～金曜日(祝日、年末年始を除く)9:00～17:00  
◆問い合わせ先 大船渡地方振興局企画総務部内就職支援センター ☎27 9911(内線209)

### 林地開発行為には 許可が必要です

民有林(保安林など除く)において、1haを超える開発行為(土石の採掘、農地・宅地・事業場の造成や廃棄物の埋設処分など、土地の形質を変更する行為)を行おうとする場合は、あらかじめ知事の許可を受ける必要があります。

◆問い合わせ先 大船渡地方振興局農林部森林保全課 ☎27 9914(内線226)

### ご存じですか? 検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあったが、検察官がその事件を起訴してくれないのはどうも納得がいかない。そのような不満をお持ちの方は、遠慮なくご相談ください。

◆問い合わせ先 一関検察審査会 ☎0191 23 4148

### 親子ふれあいキャンプ in 高田

◆期 日 7月17日(土)～18日(日)  
◆会 場 県立高田松原野外活動センターとその周辺

◆対象・定員 小学生以上の子供と保護者 先着50人

◆問い合わせ先 県立高田松原野外活動センター ☎54 5115

### 農林業を資金面で 支援します

県では、農林業の振興を資金面から支援するため、農林業や農林産物を利用した加工の事業を営む方々に対して、事業を行うために必要な設備資金や運転資金などを、低利または無利子で融通する制度を設けています。

制度の種類や内容など、詳しくは、県庁団体指導課または地方振興局、農協、森組へお問い合わせください。

◆問い合わせ先 県庁団体指導課 ☎019 629 5699(直通)

### 公衆感電事故 防止のお願い

河川や堤防で釣りをする際は、電線に注意してください。また、作業現場においては電柱や電線をよく確認し、接近する場合は安全対策を実施するようお願いいたします。カーボン製の釣りざおは電気を通すので特に注意が必要です。移動するときは、必ずたたみましよう

建設・土木現場では、事前に電柱や電線を確認し、工事に支障があるときは早めに連絡をお願いします。

切れた電線を発見した場合は、触れずに連絡をお願いします。  
◆問い合わせ先 東北電力(株)大船渡営業所 ☎27 3121

### 岩手県学生会館 短期入寮生の募集

東京都豊島区にある岩手県学生会館では、短期入寮生を募集しています。

◆入寮資格 岩手県に在住し首都圏の大学、短期大学の主催するスクーリングを受講される方

◆寮費 4,000円(1泊2食付き、寝具リース料、光熱水費込み)・希望される方は、役場、地方振興局の窓口で募集要項を配布しています。

◆問い合わせ先 岩手県学生会館 ☎03 3972 4783

### 調理師・製菓衛生師 試験の実施について

◆試験日時 9月7日(火) 10:00～12:00  
◆場所 岩手県庁、大船渡地区合同庁舎ほか県内9会場

◆申込期間 7月5日(月)から7月16日(金)まで

◆問い合わせ先 大船渡保健所保健衛生課保健グループ ☎27 9913(内線248)

### キャンパス見学会を 開催します

県立大船渡職業能力開発センターでは、次のとおりキャンパス見学会を開催しますので、お気軽にお越しください。

◆日 時 7月28日(水) 13:00～15:00

◆内 容 センターの概況説明や、授業(実習)見学、当校に関する相談など

◆問い合わせ先 県立大船渡職業能力開発センター ☎27 5692

### 岩手大学公開講座 (釜石教室)のお知らせ

(高校生、一般対象)

◆講座名 高校生のための経済学入門

◆日 時 7月10日(土) 13:00～16:30

◆申し込み先 岩手大学総務部研究協力課公開講座係 ☎019 621 6854

(一般対象)  
◆講座名 環境維持における農産廃棄物への対応

◆日 時 7月24日(土) 13:00～16:00

◆申し込み先 釜石市教育委員会社会教育課 ☎0193 22 8835(共通)

◆場 所 岩手大学釜石教室(釜石市教育センター5階)

◆定 員 40人

◆受付期間 7月8日(木)まで

◆問い合わせ先 岩手大学総務部研究協力課地域連携推進係 ☎019 621 6852

### 工事などの入札結果

工事名など( )内は工事場所など	契約額	契約業者
町道二度成木船作線道路予備設計及び物件調査算定業務委託	4,095,000	(株)菊池技研コンサルタント
町道二度成木船作線改良舗装工事	27,720,000	(有)吉田工務店

お詫びと訂正 5月号の2ページ「黄金週間」中「上町・娘手踊り」は別の写真でした。関係各位に対し深くお詫び申し上げます。町のホームページに写真を掲載しましたので、そちらをご覧ください。また、9ページ「豚肉で疲れも吹っ飛ばす」中「五月十四日」は「五月二十一日」の誤りでした。訂正してお詫びします。

広報すみた 平成16年6月25日(14)